

きん じょう てん か
錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
9月27日発行 NO.17
文責 出崎 友英

はかることと、ふやすこと

先週は定期テスト(前期期末テスト)が行われました。今、その答案がそれぞれ返却されている時期だと思えます。皆さんの中には「テストは何のためにするのだろうか?」と考えたりする人もいるかもしれません。

以前読んだ本の中に、こんな一節がありました。

はかることと、ふやすこと。

それはたいそうちがうことなのに、同じことと
思っている人がいるようです。

例えば、今ここに砂糖があるとしましょうか。
それをはかります。「はかっていると、どんどん
砂糖がふえてくる…。」なんて、そんなばかげた
ことはありませんね。

「はかる」のはどれだけあるかを
調べることです。

「ふやす」ためには砂糖をもっと
たさないといけませんね。

ところが勉強のこととなると、
「はかる」ことと「ふやす」こと
をいっしょにしている人がいるようです。➔



「テストを受ければ学力がつく。」「テストがある
ので勉強をする。」…おかしいですね。

学力をつけるには、苦勞や努力が必要です。
苦勞して努力して「どれくらい力がついたか
な?」と、はかってみるのがテストなのです。

テストの結果をもとにして、新しい工夫や努力
をかさねてこそ、テストは意味のあるものになる
と思うのです。

「はかる」だけでは、砂糖でさえふえないので
すから、どうして学力がふえるのでしょうか。

「教室をいきいきと」大村はま (ちくま学芸文庫)より

大村さんの言葉をお借りすれば、定期テストの目的はこ
れまでに学習した内容を、それぞれの人がどれくらい身に
つけたかを調べることです。

人と人を比べたり、全校生徒の中での順位を出したり
することは、定期テストを実施する上での第1の目的では
ありません。

正々堂々とテストを受け、その結果を謙虚に受けとめ、
自分の課題や足りないところを把握して、それからの日頃
の自分の学習に生かすこと。これが自分の学力を向上さ
せるための、遠回りのようで最善で最短の道なのだと思います。
「学問に王道なし。」なのです。

生徒会選挙がありました。

9月26日(木)に、新しい生徒会役員を選ぶための立
会演説会と投票が行われました。演説会では18人の立
候補者とその推薦者が、全校生徒に向かって堂々と自
分たちの考えを述べながら、それぞれの候補者のよさをア
ピールしました。その演説のクオリティや壇上での態度がと
ても立派で感心しました。この選挙で選ばれた新たなリー
ダーたちの元で、錦ヶ丘中の新たな歴史が刻まれていく
ことがとても楽しみです。



◆お知らせです。

○9月26日(木)に、3年
生が総合的な学習の
取り組みで、台湾の中
学生とオンラインで交流
をしました。お互い英語
を使いながら、自己紹
介やそれぞれの地域や学校のよさの紹介などをしまし
た。台湾の中学生の中に日本語がとても上手な人が
いて、錦ヶ丘の生徒たちが大きな拍手を送っていました。
この交流会にお力添えいただいた皆さん、ありがとう
ございました。



○この度、新しくALTの〇〇先生が着任
されました。アメリカのご出身です。日本
食では手巻き寿司が大好きだと聞きました。
生徒の皆さん、積極的に話しかけて
先生からたくさんのことを学んでください。
〇〇先生、よろしくお願ひします。



できない理由を並べるのではなく、
どうすればできるかを考えよう! 「先生のコトバ集」より